

大 建 第 2 1 4 9 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

丹羽郡大口町長 酒井



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼の件につきましては、別添のとおりです。

今後の道路行政についての意見・提案

①・道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

愛知県大口町

◎多彩な人材が地域活動や NPO 活動などで活躍しているが、道路行政には生かされていないことが多分にあり、多様化した住民のニーズに対応するためには、住民との協働・情報共有等を充実させることが必要かと考えております。

◎住民のみなさんに道路行政に興味をもっていただくためにも、道路敷地・施設の利用に係る制限を緩やかにしていただきたい。

- ・ベンチ等簡易な休憩所の設置
- ・広告看板(旗等)の設置(占用料又は広告料により維持費の補充)

◎10年、20年後の乗り物を想定した道路づくりの資料提供をお願いしたい。

- ・1人、2人乗りの乗り物

◎通過車両の生活道路への進入制限

◎幹線道路、都市計画道路整備に対する支援をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

愛知県大口町

○現状

高度成長期前後につくられた道路が多いため、今度、維持修繕等にかかる経費が増加すると予想される。

隣県、市町から名古屋市内への通勤等のため国道41号線を利用する自動車の通過地域となっている。また、国道41号線及び国道155号線を通勤や輸送のために利用する自動車による慢性的な渋滞が起きている。

○課題

計画的な補修による道路の長寿命化
住民との協働で道路維持修繕ができるシステムの構築

高齢者、子どもの安全確保のために、生活道路への通過車両の進入抑止
慢性的な渋滞の解消

住民ニーズや地域特性を踏まえた「住民の参画と参加のまちづくり」を目指し、「協働事業の推進」と「住民が主役」となった地域基盤の強化に取り組んでいく。

高齢者が地域内を安心して容易に移動できる環境を整備していく。

道路の老朽化を遅らせるための予防処置により維持費の節約を図っていく。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

愛知県大口町

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
幹線道路の慢性的な渋滞解消	・国道41号線の6車線化 ・国道155線の4車線化	・通勤及び運送のための自動車による慢性的な渋滞の解消が期待できる	
安全・安心のまちづくり	・住民との協働による、交通パトロール等の実施 ・小学校・PTA 等からの通学路に関する要望、立会 ・通過車両の生活道路進入を抑止	・住民目線での改善 ・住民の道路行政への関心を高めることが期待できる ・住民との協働作業により相互のコミュニケーションの推進が図れることが期待できる ・高齢者、子どもの安全確保	
少子・高齢社会に対応した道路整備	・主要幹線道路のバリアフリー化 ・コミュニティバスの運行 ・歩行者、自転車用道路の整備	・交通弱者にやさしい道路の整備により子どもやお年寄りの安全な地域内移動が期待できる	